

凡事徹底

内子中学校長 西本 晃

限界を遙かに超えた最高の体育大会になりました

4年振りに、参観者の制限をなくし、多くの保護者・御来賓・地域の皆さんに見守られる中、盛大に体育大会が開催できましたこと、心からお礼申し上げます。



全校生徒が日頃の感謝の気持ちをしっかり行動で示してくれました。生徒の一生懸命な姿は御参観の皆さんの心を動かし、元気や感動をお届けすることができたのではないかと思います。

また、生徒はこの取組を通して、たくさんの思い出とともに、成長という大きな宝物を手にすることができました。生涯の仲間との絆も今まで以上に深まったのではないかと思います。

体育大会は筋書きのないドラマ

体育大会は筋書きのないドラマであり、名シーンや見所が続出でした。中でも、応援合戦の両ブロックの演技は甲乙付けがたく、まさに紙一重の差であったと思います。麟華ブロックの演技は、最優秀賞にふさわしいキレのある演技でした。太鼓と演舞等で新しいことにも挑戦し、見事やり切りました。団長のI・R君、ブロック長のT・Rさん、副ブロック長のM・K君、O・Rさんを始め、3年生の気迫が1・2年生に乗り移り、最高のパフォーマンスを見せてくれました。



また、鬼神ブロックの演技も団長のN・K君、ブロック長のM・Kさん、副ブロック長のN・S君、N・Kさんを始め、ブロックの3年生がリーダーとなって、躍動感のある演技を披露しました。全体が一つになった一糸乱れぬ演技と様々な決めポーズはまさに圧巻でした。本当に格好よかったですと思います。最優秀と同様の立派な優秀賞だったと思います。

そして、この両ブロックの演技の裏には、お互いのブロックを激励し合い、全員で最高の体育大会をやり遂げたいという強い思いが込められていました。前日に行った応援披露もお互いにエールを送り、本番さながらの迫力のある演技を行うことで、本番への勢いをつけてくれたと思っています。



嬉し涙あり、悔し涙あり、結果を受け入れる思いあり、互いを気遣う姿あり、3年生を中心に取り組んだ体育大会は、コロナにも、熱中症にも負けない最高のものになりました。行事を通して大きく成長できた内中生に心から拍手を送ります。今回、紹介できませんでしたが、3年生のリーダーが作り上げてくれた4枚のブロック旗は各ブロックの象徴であり、皆をまとめる大きな支えになったことは言うまでもありません。それを含め、きっと、両ブロックの3年生の姿を見て、2年生は来年の、1年生は2年後のこの舞台上で活躍する自分の姿を想像したことと思います。来年、再来年・・・と内中の素晴らしい伝統が永遠に引き継がれることを楽しみにしています。

次は文化祭です。四国大会で金賞を受賞した吹奏楽部の演奏、聴いている人の心を動かす合唱コンクール、観ている人を元気にする有志発表等で、今までの取組を越える最高のパフォーマンスが見られることを楽しみにしています。

なお、今年度は、内子町商工会青年部内子支部の皆さんに御協力いただき、かき氷の無償配布をしていただきました。暑さを和らげるだけでなく、気持ちが温かくなり、故郷内子のよさを改めて感じることができました。

青年部の皆さんに、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



市郡新人体育大会の応援も宜しくお願いします

大洲市・喜多郡中学校新人体育大会も、いよいよ21日（木）の抽選会で組合せが決まります。今年度の大会は10月2日（月）～4日（水）の3日間で行われます。

なお、2日（月）は野球の1回戦（1試合）のみが行われますので、野球部の関係者の皆さんはご注意ください。各部の詳細は顧問から御確認ください。

部活動の地域移行に向けて

部活動の地域移行を目指し、今、内子町では拠点校部活動について検討しています。体制が整えば、自分の学校に希望する部活動がなくても、他校の部活動に参加し、活動することができるようになります。現在までの話合いの内容は、内子町のHPで確認できますので、そちらをご覧ください。